

平成26年3月期 第2四半期

平成25年4月1日～平成25年9月30日

補足説明資料

平成25年10月30日（水）

デジタルアーツ株式会社

（証券コード2326）

平成26年3月期 第2四半期連結累計期間の
 売上高は 1,481百万円（前年同期比 109.6%）、
 経常利益は 260百万円（前年同期比 94.7%）となりました。

（単位：百万円）

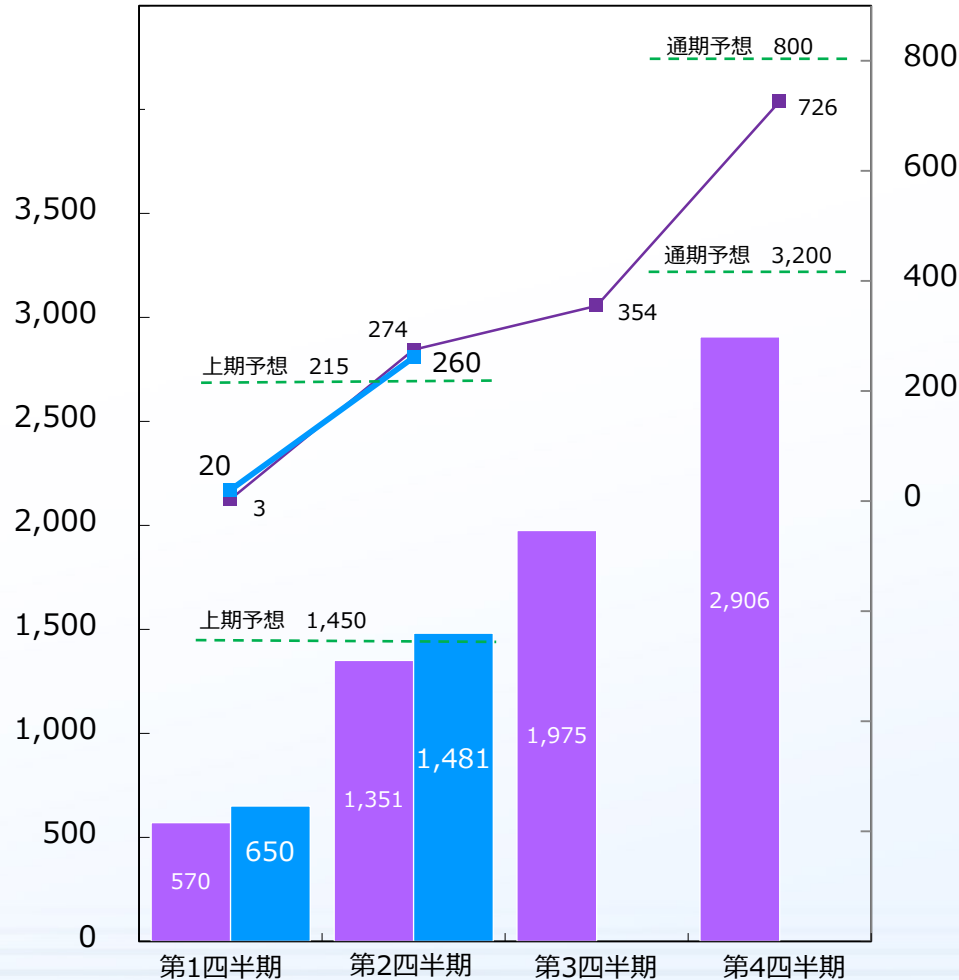
連結	平成25年3月期	平成26年3月期		
	上期（実）	上期（予）*	上期（実）	前年同期比
売上高	1,351	1,450	1,481	109.6%
営業利益	272	215	256	94.1%
経常利益	274	215	260	94.7%
四半期純利益	166	130	157	94.6%

*上期予想は平成25年5月9日公表の業績予想

業績の進捗 (連結)

(単位：百万円)

平成26年3月期 ■ : 売上 —■— : 経常利益
 平成25年3月期 ■ : 売上 —■— : 経常利益



売上高 : 通期の約46.3%の進捗
 (上期業績予想比 : 約102.2%)

経常利益 : 通期の約35.5%の進捗
 (上期業績予想比 : 約120.9%)

売上原価は428百万円（前年同期比120.4%）、
販売費及び一般管理費は796百万円（前年同期比110.1%）となりました。

新製品開発・発売に伴う人員の増強と減価償却費の増加、海外展開関連費用などによるものです。
いずれも、計画通りに推移しています。

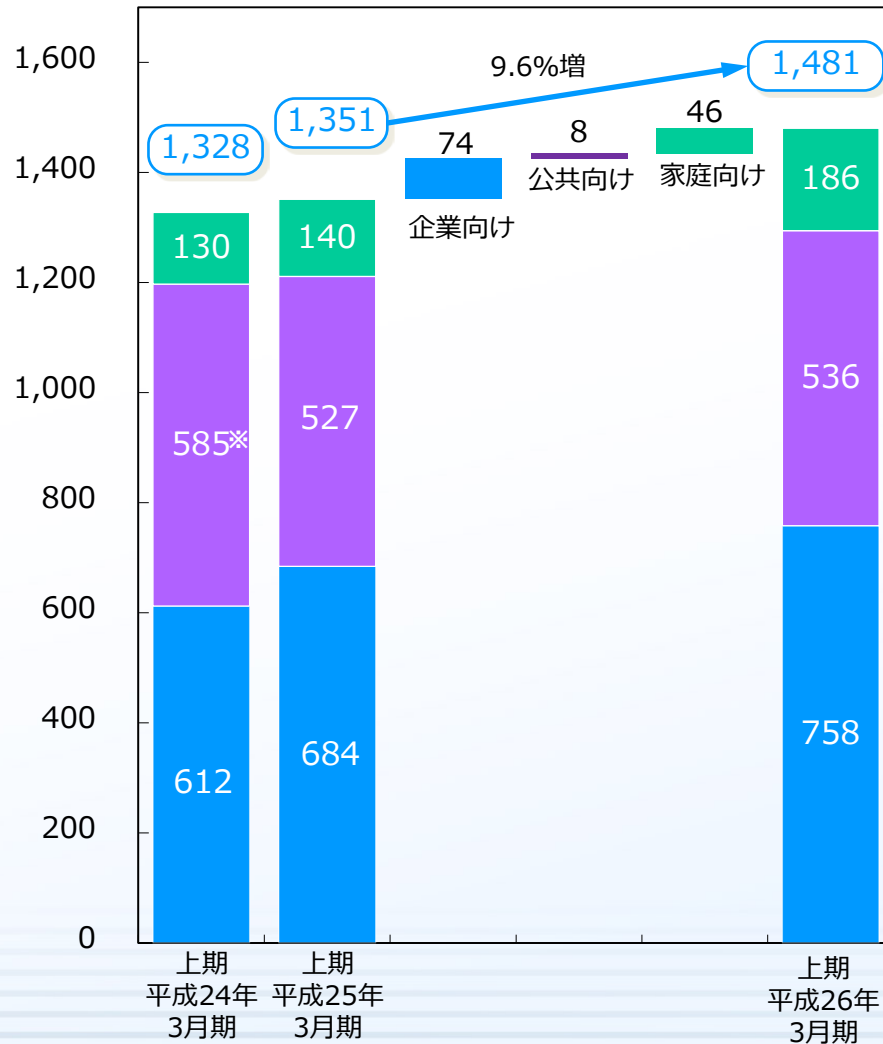
（単位：百万円）

連結	平成25年 3月期	平成26年3月期			
	上期（実）	上期（実）	前年同期比	前年同期 増減額	主な増減要因
売上原価	355	428	120.4%	72	
労務費	178	191	107.0%	12	新製品開発に伴う開発・サポート人員体制強化
減価償却費	90	128	141.7%	37	新製品発売に伴う減価償却費の増加
他勘定振替その他製造原価	86	108	125.6%	22	海外展開関連費用増やD-SPA用サーバー機器の仕入れ増
販売費及び一般管理費	723	796	110.1%	73	
人件費	351	408	116.4%	57	新製品発売に伴う人員体制強化
広告宣伝費	109	108	98.7%	△1	広告費減
その他	262	279	106.5%	17	人員増加に伴う関連費用や海外展開関連費用増

市場別売上高の推移（連結）

(単位：百万円)

■ 企業向け市場 ■ 公共向け市場 ■ 家庭向け市場



※ 平成24年3月期：大型受注分(約190百万円) 含む

前年同期比

- 企業向け市場：約74百万円増 (10.9%増)
- 公共向け市場：約8百万円増 (1.7%増)
- 家庭向け市場：約46百万円増 (33.1%増)
- 全体：約129百万円増 (9.6%増)

■ 企業向け市場のトピックス

- 企業向け市場における売上高は758百万円（前年同期比110.9%）
 - 「i-FILTER」ならびに「m-FILTER」のクラウド版が順調に推移
 - 「m-FILTER」は、前期に生じた期ずれ案件の成約が進み順調に推移
 - 「D-SPA」は、平成25年1月に新バージョンを投入したことで売上が好調に推移
 - モバイル端末用「i-FILTER ブラウザー」のWindows端末向け新バージョンの提供開始
 - NRIセキュアテクノロジーズ株式会社より事業譲受された製品「Mail Adviser」の販売を7月から開始し「m-FILTER」との相乗効果により事業拡大を推進

■ 公共向け市場のトピックス

- 公共向け市場における売上高は536百万円（前年同期比101.7%）
 - 文教市場や地方自治体向けに「m-FILTER」の販売が好調に推移
 - 文教市場向けに「D-SPA」の販売が好調に推移
 - 前年同期に文教市場および官公庁に規模の大きな特需案件があり前年同期比で微増

■ 家庭向け市場のトピックス

- 家庭向け市場における売上高は186百万円（前年同期比133.1%）
 - スマートフォン向け「i-フィルター」は、携帯電話事業者との連携やOEM提供をはじめとした有料サービスの販売が順調に推移
 - スマートフォンの利用に伴う危険性について疑似体験や学習ができる無料のアプリケーションの提供および保護者や青少年向けの安全利用に関する講演活動を実施し、さらなる需要喚起に注力

■ 海外関連市場のトピックス

- アプリケーションクラウドサービス「Polkast」をグローバルの法人向け製品へ
 - 個人向けのサービスだった製品をグローバルで通用する法人向け製品へ改良するための開発を推進中
- 既存製品のグローバル対応へ
 - 既存の製品をグローバルに提供するための準備を推進中

平成26年3月期 通期業績の予想

<平成25年4月1日～平成26年3月31日>

DigitalArts.

平成26年3月期連結会計期間の

売上高は32億円（前年同期比110.1%）

経常利益は8億円（前年同期比110.2%）を見込んでおります

第3四半期以降は、第2四半期までに計上した一時的な費用計上がなくなることや
販促費の一部削減を織り込んでおり、通期の連結業績見通しにつきましては、
平成25年5月9日に公表いたしました業績見通しの変更はございません

今後、重要な変化がある場合は適切に開示してまいります

（単位：百万円）

連結	平成25年3月期	平成26年3月期	
	通期（実）	通期（予）	前年同期比
売上高	2,906	3,200	110.1%
営業利益	736	800	108.6%
経常利益	726	800	110.2%
当期純利益	444	480	108.0%

*通期業績予想は平成25年5月9日公表の業績予想

➤ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成26年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の約23.0%

平成26年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり8.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成25年3月期	300.00	500.00※1	800.00	24.9%
平成26年3月期（予想）※2	4.00	4.00	8.00	23.0%

※1 東京証券取引所一部指定記念配当の200.00円を含んでおります。

※2 平成25年3月31日現在の株主に対し平成25年4月1日付けをもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。平成26年3月期の配当金予想は当該株式分割後の金額であります。

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適切に開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-